



「ハイブリッド・エコ・ハートQ住宅の科学」④ エネルギー自活住宅の考え方

17・18pの紹介

九州住環境研究会では、左写真の「ハイブリッド・エコ・ハートQ」④エネルギー自活住宅の考え方の他、住宅に関連する環境について、4分冊の小冊子を発行しております。住宅建築は、単に住宅を建てればよいというわけではなく、断熱性能などさまざまな数値によって性能管理が行われています。住宅の性能には、明確な基準があり、素材の採用や施工方法にも明確な根拠があります。それを項目毎にまとめたのが上記の小冊子です。これから順次、抜粋してご紹介致しますが、本冊子に興味のある方は、電話・インターネット等でお申し込み頂ければ差し上げます。

何に、最も多く電力を使用しているのかを知る！

◎電気を使う家電一覧。

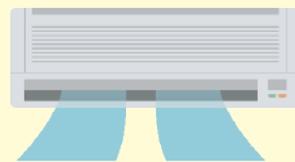
1位 エアコンの電気代

年間約 16,000 円～ 50,000 円

表・15

畳数	年間電気代
6畳向け	16,767円
8畳向け	19,062円
10畳向け	21,330円
12畳向け	32,265円
14畳向け	34,614円
18畳向け	50,166円

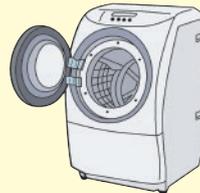
家電の中でも最も電力を消費するエアコンは、今まで何畳用という不確かな表示でしたが、世界的な拡販の中で「通年エネルギー消費効率 (APF)」等の表示が一般的になりました。高効率品が省エネになります。



300 ~ 3000W

●エアコン

冷房用が主だったエアコンも、寒冷地の暖房にも採用されるようになり、現在は世界的な冷暖房器機に成長しています。ヒートポンプという優れた日本の省エネ技術が評価されています。



200 ~ 400W

●洗濯乾燥機

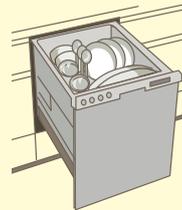
洗濯機は白物家電の代表選手ですが、中国・韓国などにシェアを奪われて、壊滅的な状況でしたが、多機能製品などの高級洗濯乾燥機の開発で、日本製が見直されています。

2位 洗濯+乾燥機の電気代

年間約 9,500 円～ 23,000 円

表・16

洗濯機タイプ	洗濯	洗濯+乾燥	年間(洗濯+乾燥)
縦型	1.62円	61.83円	22,567円
ドラム型	1.89円	25.92円	9,460円



1100 ~ 1300W

●食器洗い乾燥機

食器洗い乾燥機もまた、世界的に認められている日本ならではの開発製品です。形状の異なる皿や茶碗を見事に洗浄する技術もまた、中々まねの出来ない日本の特殊技術のようです。

3位 食器洗い乾燥機の電気代

年間約 15,000 円

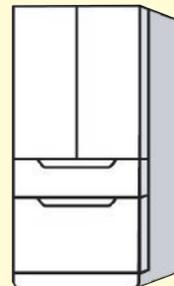
11 リットルタイプの食器洗い乾燥機を毎日 2 回ずつ使った場合の電気代は、年間 15,373 円。

4位 冷蔵庫の電気代

年間約 8,400 円～ 10,000 円

表・17

冷蔵庫のサイズ	年間の電気代
1人暮らし用 (168L)	9,450円
2・3人暮らし用 (365L)	10,125円
3・4人暮らし用 (470L)	8,505円
5人以上用 (601L)	8,451円



100 ~ 300W

●冷蔵庫

年々大型化している冷蔵庫ですが、日本製品は確実に省エネが進んでいます。冷蔵庫は、中々壊れないので長期的な使用や、中古品をお下がりで頂く事などもあります。故障しなくても10年に一度は、見直して下さい。省エネが格段に進んでいる場合が有ります。小型の2~3人用より、大きな方が省エネになります。

5位 照明器具の電気代

1台あたり年間約 3,200 円

12畳向け LED シーリングライトの年間電気代は、1日8時間毎日使用したとして1台あたり3,232円となります。



20 ~ 100W

●LED照明

日本では、電球の生産は終了し、LEDが主流になっています。LEDの登場で照明器具の電力使用は格段に少なくなっています。LEDは省エネの優等生です。

意識を持って節電する事で、電力量は確実に減らせる！

6位 テレビの電気代

年間約 1,900 円

4K テレビの電気代は年間約 4,100 円

2K テレビ（フル HD）の電気代は年間約 1,944 円（50 型）です。

7位 アイロンの電気代

年間約 2,300 円

アイロンを毎日10分間使った場合の電気代は、年間 2,299 円となります。

8位 炊飯器の電気代

年間約 2,200 円

炊飯器（5.5 合炊き）電気代は年間 2,160 円となります。

9位 ヘアードライヤーの電気代

ひとり年間約 2,000 円

ドライヤーを1日10分間、毎日使った場合、電気代は年間 1,971 円となります。

10位 電子レンジの電気代

年間約 1,600 円

電子レンジの電気代は年間 1,587 円となります。

11位 掃除機の電気代

年間最大で約 1,400 円

1日10分間、毎日掃除機をかけた場合、掃除機の電気代は、**年間最大で 1,396 円**となります。

◎安易な電力使用を避ける工夫！

昔と異なり、現代では住宅家電の必要電力量は大幅に減少しています。ただその分、昔は一家に一台のテレビが、現代は複数台に増えるなど、削減してきた電力量を上回る使用量の増加になっています。



300 ~ 500W

●TV

テレビはブラウン管の時代と比較すると、大きさも省エネ性能も格段に進化しています。画質も年々高画質化が図られて、この先どこまで進化を続けるのか楽しみです。



200 ~ 1300W

●アイロン

アイロンは昔からその原型は変わりませんが、機能的にはかなり進歩しているようです。省エネ性や安全性も高くなり、軽くて使いやすい機種が増えているようです。



100 ~ 300W

●炊飯器

中国人の爆買いでも話題になった炊飯器は、東南アジアでも人気商品になっているようです。高級品は、プロの炊飯職人よりも高品質なご飯を炊きあげるようです。



600 ~ 1200W

●ヘアードライヤー

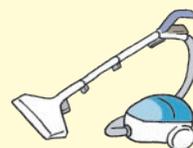
今までは、髪を乾かすだけだったヘアードライヤーも、髪に湿度をプラスしたり、様々な副次的な機能が付いている機種もあり、大きく進化しています。



1000 ~ 1400W

●電子レンジ

解凍から湯沸かし、調理まで、今や台所の主役となっている電子レンジも省エネ率の高い家電です。温度管理はプロ並みに正確になっています。



850 ~ 1000W

●掃除機

掃除機も様々な機能のモノが開発されています。排気の汚れが問題になってきましたが、掃除機から排出される空気の方が、綺麗になるなど、掃除機の性能は非常に向上しています。

エコキュートはヒートポンプでお湯を沸かす技術です。



原子力発電の時代が終わり、夜間電力の恩恵が無くなった今、電気温水器は、家計の足を引っ張る厄介者になっています。ヒートポンプの「エコキュート」が太陽光発電時代の救世主になりつつあります。